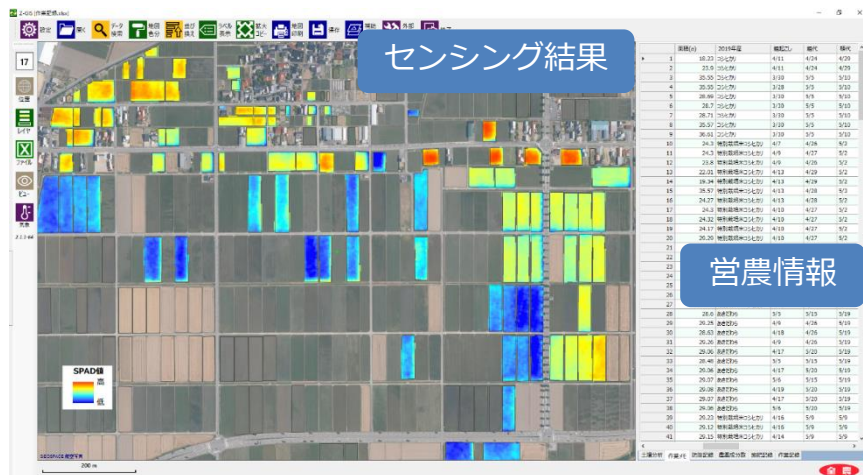


## 人工衛星リモートセンシングによる作物診断

○人工衛星（地球観測衛星）リモートセンシングにより広範囲の作物状態を効率的に把握できる

○国際航業(株)がサービス提供する「天晴れ」では水稻（葉色、タンパク含有率、籾水分率）、小麦（タンパク含有率、穂水分率）、大麦（穂水分率）、大豆（生育診断、収穫期診断）、牧草（雑草検出、不良植生割合）の診断ができる ※数値ではなく、ヒートマップで示される

○全農営農管理システムZ-GISでは、診断申し込み時の圃場データの作成、解析結果の表示、編集が可能



Z-GISでリモートセンシング結果を読み込み、営農情報と重ねて表示できる



診断の手順